

早く、いろいろな仕事を覚えて、会社の役立ちたいです。



岩本 翔月 さん
 【小田中・19歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。
 今回は、4月から建設会社に勤務している岩本翔月さんにお話をうかがいました。

◆ どのような仕事をされていますか？
 土木工事の現場で、測量を行ったり、工事の進捗よく状況写真や出来形写真を撮影しています。

◆ 測量はミスが許されないのでは、測点を間違えないように、毎回緊張して行っています。

◆ 今の仕事を選んだ理由は何ですか？
 土木関係の仕事に興味がありました。仕事の成果が、形として残るので、やりがいのある仕事だと思います。体を動かす仕事なので疲れがたまりませんが、今は、たいぶ慣れてきました。

◆ 休日ほどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 休日は、友達とカラオケやボウリングをしています。また、ドライブが好きで、よく山道を走ります。趣味は、音楽鑑賞やギターで、高校時代にバンドを組んでいました。

◆ 今後の抱負をお願いします。
 分からない事があれば、先輩の皆さんに聞くようにしています。早く、いろいろな仕事を覚えて、資格などを取り、会社の役に立ちたいと思います。



◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。
 中野市は、自然が豊かで果物がおいしいと思います。リングやブドウが好きです。また、昔のように市街地が活気づけばいいと思います。

◆ 今後の抱負をお願いします。
 分らない事があれば、先輩の皆さんに聞くようにしています。早く、いろいろな仕事を覚えて、資格などを取り、会社の役に立ちたいと思います。

■ 今月のプレゼント
 月の兔ペンバッジ
 ……5名

問題
 インフルエンザ
 ●●●●接種は
 お早めに!

クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
 締め切り 12月24日(金)必着
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 中野市三好町一丁目
 3番19号
 中野市役所
 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・電話番号

継承 中野が誇る伝統文化

第31回 (最終回) 木彫りを楽しむ会



▲木彫の楽しさを語る、会長の中野文江さん

本彫とは
 ホウノキやシナノキなどの木材にカーボン紙で絵の輪郭を写し、三角刀や印刀で輪郭を彫ります。浮き彫りや沈め彫りなどの技法で凹凸を表現するのが特徴です。完成までに時間がかかり、大きな作品や複雑な作品となると、準備から仕上げまで半年以上かかることもあります。
 仕上げ作業は漆職人の様に慎重さが求められます。彫り終わった作品は板全体を紙ヤスリで磨き、焦茶色や赤茶色などの塗料を数回重ね塗りし、光沢や濃淡で表現します。作品を損ねないように、板の木目はつぶさないよう注意します。

◆ 本彫の魅力とは
 何と言っても彫刻刀で一枚の板が絵になることです。テーマの絵はさまざまですが、彫った凹凸で繊細な絵が表現できることも魅力です。作業は地味ですが、時間をかけて完成したときの達成感は絶大です。線が複雑な絵は、彫り始めるまで不安ですが、時間をかければできることが多く、何事も前向きな姿勢が大切なんだと実感できます。

◆ 皆さんの今後のメッセージ
 どなたでも小中学生のころ、一度は彫刻刀を使った経験があると思いますが、一枚の板が絵になる素晴らしさを実感したい方は、ぜひ木彫りを楽しむ会を訪ねてください。

市民リレーインタビュー 走者 キャッチボール

No.39
 菅沼 良太さんから紹介された



中山 静恵 さん
 (管理栄養士・小館)

- ①自己紹介
 趣味はマラソンで、ハーフマラソン大会にもたびたび出場しています。また、旅行も好きなので、朱印帳を片手に各地の名所を巡りながら、旅の記録を残しています。
- ②今後チャレンジしたいこと
 フルマラソンに出場することです。フルマラソンが完走できれば、ホノルルマラソンにも挑戦しようと思います。
- ③これからのまちづくりに望むこと
 家族を大切に、家族で食事することを大切にする子どもが増えるように、子育て支援などに力を入れてほしいと思います。

家の畑でぶどうを作りたい



科野小学校 5年
 浦野 純哉くん

ぼくの夢は、家の畑でぶどうを作ることです。今、ぼくの家では、巨ぼうを作っています。今年もすぐたくさんのぶどうが実りました。家で作ったぶどうは、日本全国の人たちに食べてもらっています。

また、巨ぼう以外にも、いろいろな種類のぶどうも作ってみたいと思っています。そのために、家でぶどうの仕の手伝いもしつかりやり、そして、もつとおいしいぶどうができるように、いろいろと研究してみたいです。それができるように、日本だけではなく、世界中の人たちにも食べてもらいたいです。

家でとれたぶどうを使ったワインや、アイスクリームなんかもできた方がいいと思います。

No.68